



おへそ

多久市立 東原庫舎中央校（義務教育学校）

学校便り No. 3 令和6年7月10日

★学校教育目標 夢に向かって生き生きと輝く児童生徒の育成
★学校スローガン 夢を現実（かたち）に！チャレンジ！中央校！

文責 校長 田代 豊 樹

令和6年度 中央校体育大会

中央校は、義務教育学校として9年間の一貫教育を推進しています。体育大会は、全校児童生徒と教職員が一体となってつくりあげる義務教育学校中央校の一大行事です。

今年度は、5月29日（日）に開催しました。当時は雨の影響が心配される空模様でしたが、おかげさまで何とか無事に開催することができ、多くの保護者や地域の皆様、ご来賓の皆様にご観覧をいただきました。心よりお礼を申し上げます。また、駐車場不足や入場者の混雑、バスによる送迎等、運営面で心配した点もございましたが、大きな混乱や事故等もなく大会を終えることができました。これは、大会の運営にご理解とご協力をいただいた保護者や地域の皆様、そして、お力添えをいただいたPTA役員の皆様のおかげです。心より感謝を申し上げます。

体育大会は、児童生徒のリーダーシップやフォロワーシップを育んだり、試行錯誤しながら組み立てる場を与え粘り強くチャレンジさせる活動を通して児童生徒の主体性を育んだりする場として、学校の教育活動の中で大切な役割を担っています。大会本番や練習を通して、子どもたちが生き生きとした表情で競技し演技する姿や、応援団の団長を含め、多くの児童生徒がそれぞれの役割を精一杯に果たそうとする姿を見ることができました。多くの人と関わりながら何かを作り上げることの難しさや成し遂げた時に味わえる達成感など、体育大会を通して学びを深めることができたのではないのでしょうか。多くの子どもたちが成長の足跡を残してくれた体育大会となりました。

体育大会の運営のあり方は時代と共に少しずつ変化してきています。しかし、それでも体育大会だからこそ育むことができる子どもたちの姿があり、これからも義務教育学校として全校児童生徒と教職員が関わりながら作り上げることができる学校行事として大切にしていきたいです。

◆実行委員長 9年 徳永 遼平

今年度の体育大会スローガンは、「流星光底」～一人ひとりが輝く体育大会～でした。先日行われた体育大会では、このスローガンの通り、各競技で一人ひとりの個性や長所が出ていたり、短所は協力し合って補っているシーンがたくさん見られたり、とてもうれしく、大成功の体育大会だったと思っています。保護者の皆様は、暑い中、たくさんの声援やご協力をいただきありがとうございました。この素晴らしい体育大会の経験を生かして、中央校をよりよくしていきたいです。

◆実行委員長 9年 淵上 琉菜

9年生は最後の体育大会、どの学年よりも本気だったと思う。応援練習では、声が小さかったり、覚えられなかったりで、なかなか進まないことが多かった。でも、どの団も一生懸命に取り組んで、本番では最高のパフォーマンスができたと思う。学年種目も各学年、素晴らしい競技だった。他の学年が競技に出ているときはテントで応援していた。以前は、コロナで声出し応援ができなかったのが、久しぶりにできてよかった。最高の体育大会でした。

◆赤団 団長 9年 吉岡 功虎

僕は最初、応援団長になるつもりはありませんでした。でも気が変わって団長になりたいと思い団長になりました。体育大会が終わった今、団長になってよかったなと実感しました。理由は、みんなが応援リーダーが言ったことにてきぱきと行動してくれて、本番ではみんな笑顔で全力で楽しんでくれたからです。そして、最後、みんなで総合優勝できたのでよかったです。

◆黄団 団長 9年 園田 華麗

私は団長を経験して、団全員をまとめるよりもリーダー全員が同じ方向を向くのに時間がかかり、思うようにいきませんでした。けれど応援練習は7年生・8年生が頑張ってくれて、自分的には悔いのない体育大会にすることができました。応援大賞もとることができ、最高の体育大会にすることができました。9年生にとっては、最後の体育大会を黄団みんなで盛り上げてくださりありがとうございました。黄団最高！

◆青団 団長 9年 円田 春穂

今年の体育大会は、私たち9年生にとって、中学校最後の体育大会でした。その体育大会で青団は優勝することはできませんでしたが、今までで一番楽しく笑顔の絶えない体育大会でした。練習期間では思い通りにならないことも多くありましたが、応援リーダーで話し合ったりアドバイスを言い合ったりしながら最高の演舞を作り上げることができました。今までついてきてくれた7・8・9年生、応援してくれた応援リーダーのみなさんありがとう！

◆赤団 団長 6年 広田 愛奈

最初は、声が全然出ていなくて心配だったけど、練習をしていくうちにだんだん声が出てきていたので安心しました。また、振り付けも大変でしたが、みんなが頑張ってくれていました。総練習ではみんな大きな声を出せるか心配でしたが、大きな声を出せていて、本番も緊張しましたが、頑張ることができました。歌や振り付けを考えるのも楽しかったです。応援大賞はとれなかったけど、総合優勝ができてよかったです。

◆黄団 団長 6年 片桐 夏帆

私が団長になってうれしかったことは、4年生から6年生のみんなで協力し団結できたことです。応援リーダーはもちろん、4年生から6年生のみんなのおかげで応援大賞がとれてよかったです。総合成績は3位だったけど、思い出作りができました。団長になり、責任が重かったり、まとめるのがむずかしかったりしましたが、9年生になっても団長になりたいという気持ちが芽生えました。最後に、黄団のみなさん私についてきてくれて、ありがとうございました。おつかれさまでした！！

◆青団 団長 6年 荒木 暁

僕たち応援リーダーは、体育大会に向けて、何週間も前から準備や練習をしてきました。本番では、総合優勝や応援大賞をとることはできませんでしたが、青団の全員が優勝を目指して、一生けん命練習に取り組んでくれてとてもうれしかったです。きつかったことも沢山ありましたが、みんなでがんばってきた二週間は、僕の大切な思い出です。青団のみなさん、僕たちに最後までついてきてくださり、本当にありがとうございました。